

第6章 平成27年度 子ども・子育て支援関係実績 及び 平成28年度 子ども・子育て支援関係計画

大プロジェクト名	小プロジェクト名	事業名	担当課	内容	H27予算額	H27決算額	H27実績	H28予算額	H28計画	國プロ	重点
1. 教育・保育、子育て支援プロジェクト	1) あんしん&すこやか保育応援事業	あんしん&すこやか保育応援事業	こども未来課	保育士の増員、私立保育園に対する増築補助等、低年齢児の受け入れのための体制・環境等を整備する。 ○低年齢児受け入れ園の増改築及び保育士の加配 ○潜在保育士の再就職支援 ○看護師の増員 ○家庭的保育事業の推進	142,188千円	64,714千円	低年齢児の受入のための水口西保育園、岩上保育園及び甲南南保育園に保育士等の職員配置を行い、また柏木保育園の増築及び給食室改修の補助を行う。 潜在保育士の再就職を支援するため人材バンク登録制度を立ち上げ、保育士人材確保研修を実施している。受入体制充実のため看護師の増員配置を行った。家庭的保育事業を1箇所設置した。	41,749千円	・保育体制の強化 ・地域型保育給付金（家庭的保育事業所：ひだまり） ・保育士確保、受入れ充実事業 ・いつでも「待機児童ゼロ」モデル事業	★	
		病児保育モデル事業	こども応援課	市内における病児保育の実施可能性を調査するとともに、モデル的に病児保育を実施する。	2,032千円	0千円	市内の医療機関において受入れ可能な施設を探しており、受入れ可能な施設がありたい実施する予定をしていたが、市内医療機関へ事業協力の依頼を行ったが、受け入れ可能な医療機関については決定できなかった。	0千円 受入可能医療機関が見込め次第 予算要求	市内の医療機関において受入れ可能な施設を探しており、受入れ可能な施設がありたい実施する予定。	★	
	2) 児童クラブの拡充（設備・体制）	児童クラブ施設整備事業	こども応援課	○平成26年度9月補正において予算措置した、平成27年度の児童クラブ拡充に向けた（利用対象者を小学6年生まで拡大）施設改修費。 ○平成27年度に、綾野児童クラブ及び貴生川児童クラブを追加整備する。	120,703千円	120,277千円	子ども・子育て支援新制度に対応するため、児童クラブの施設改修及増築を実施。（H27利用者見込み数 815人、H26より受入れ可能人数は130人増） 大規模な増築及び改修 ・綾野児童クラブ増築 ・貴生川児童クラブ増築 ・柏木児童クラブ増築 ・大原児童クラブ改修 ・油日児童クラブ増築 ・土山かしきや児童クラブ改修	80,321千円	児童クラブへの入所希望の増加のため、施設整備でクラス単位を増加。 ・甲南そまっこ第2児童クラブ 新規開設 ・甲南わくわく児童クラブ 増築 ・佐山児童クラブ 新規開設		★
		児童クラブ支援事業	こども応援課	平成27年度から利用対象者を小学6年生まで拡大する児童クラブの職員確保及び処遇改善等を図るため指定管理料を増額する。	130,160千円	130,160千円	児童クラブの指定管理料を 52,335,112円増額を図り、児童クラブの職員確保等を行った。 平成26年度指定管理料 77,824,888円 平成27年度指定管理料 130,160,000円	147,026千円	昨年度比 16,866千円の指定管理料を増額し、児童クラブの指導員確保に努める。		
	3) 子育て支援センターの機能充実	子育て支援員配置事業	こども応援課	市内5か所の子育て支援センターに「子育て支援員」を配置し、地域における子育て支援の連携・協働に向けたコーディネートや、子育て支援に関係する人材の「質の向上」に向けた取組等を行う。	11,551千円	10,968千円	平成27年4月より子育て支援を配置し、各地域で実施される子育てサロンの支援や子育てに関する情報提供などを行った。	11,184千円	平成28年度から子育て支援員を「子育てコンシェルジュ」と称し、支援センター内での相談に加え、乳幼児健診や出前ひろばなどで、周知。広報や子育て情報誌等にも掲載し、子育てのガイド、相談役として広く市民へ周知する。	★	
2. 身近な地域での子育て支援プロジェクト	1) 地域における子ども・子育てのネットワーク整備	こうか子ども・子育て応援団ネットワーク事業	こども応援課	住民や行政が丸となった「子ども・子育て応援団」としてのネットワークを構築するとともに、地域での多様な子ども・子育て支援の連携・協働を促進する助成金の創設等を行う。 ○こうか子ども・子育て応援団ネットワークの設立 ○こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金の創設	2,791千円	140千円	・こうか子ども・子育て応援団ネットワークについては、各支援センターに事務局を置き、地域ネットワークを5町すべてで開設する準備を行う。H27年度は、甲賀、信楽で開設。 ・こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金については、平成27年10月に「こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成事補助金」を創設した。 補助率1/2 子育てフェスタ 11月28日(土)忍の里プララ 手作り市 他 ちびっこ自然道場 3月19日(土)鹿深の杜 野外炊飯 他	1,648千円	・こうか子ども・子育て応援団ネットワークについては、各支援センターに事務局を置き、地域ネットワークを5町すべてで開設する準備を行う平成28年度当初は水口を除く4カ所で開設。 ・こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金については、平成27年10月に「こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成事補助金」を、補助率を1/2から2/3に変更する。 子育てフェスタ 11月12日(土)あいこうか市民ホール 森のわらべ多治見園 浅井ともちゃん語ろう！主体性を育むとは？ 1月20日(金)かえで会館 を予定。 現在随時募集中。		★
		2) 子ども・子育て関係団体への充実体制	学齢期の母親サポート事業「TUNAGARU(つながる会)2015」	こども応援課	就学時の母親支援と母親交流、孤立する母親サポート、父親の子育て参画を目的とした学び、楽しみ、運動そして交流を行える事業を展開する。	215千円 (市民協働事業予算4,000千円のうち)	215千円	・市民協働事業 子育て応援★CHEERS STATIONと協働し「学齢期の母親サポート事業 TUNAGARU会」を実施。各小学校を会場に年10回開催。	230千円	・市民協働事業 子育て応援★CHEERS STATIONと協働し「学齢期の母親サポート事業 TUNAGARU会」を実施。各小学校を会場に年10回開催。	
	3) 子ども・子育て関係情報の発信	子ども・子育て情報発信事業	こども応援課	○子ども・子育て情報発信ポータルサイトの開設	640千円	180千円	・子ども・子育て情報発信ポータルサイト「こうか子育て応援ねっと！」を平成28年3月に開設 ・子育てメールマガジンの内容の充実	4,232千円	「こうか子育て応援ねっと！」を市民コンテンツやカレンダー機能など、より使いやすく新しい情報更新ができるよう事業を拡充する。	★	
1) 特別な支援が必要な子どもへの支援強化	児童発達支援事業指導員の増員	発達支援課	計画相談支援及び障害児相談支援を充実するために、児童発達支援事業指導員を1人増員する。	7,246千円	7,195千円	4月から嘱託指導員を1名増員し、3人体制による相談支援を実施した。	9,939千円	嘱託職員を1名増、臨時的任用職員を1名減と、人的にはかわらないものの、安定的に支援を実施する体制を強化。			
	発達支援システム等の拡充	発達支援課	障害児支援利用計画の作成及びモニタリング等を充実するため、発達支援システム等の整備を行う。	1,912千円	1,808千円	利用計画作成業務等に優先して使える公用車を、8月に購入した。また、発達支援システム（PC）の機器更新を12月に行った。	967千円	相談・訪問に使用する公用車を8月に買換。			
		「発達障がい児を持つ保護者・教育者・関係者の発達障がいへの理解・対応・連携を学ぶ研修会」開催事業	発達支援課	保護者や支援者が発達障がいを正しく理解し、対応・支援できるよう、関係者が一同に集う効果的な研修会や講演会を実施する。	90千円 (市民協働事業予算4,000千円のうち)	90千円	市民協働事業として、こころ はなまると協定を締結し、事業を実施。 学齢期保護者学習会 3回 教員と保護者が共に学ぶ研修会 1回 こころはなまるセミナー 1回 こあいパスポート研修会 1回	100千円	市民協働事業として、こころ はなまると協定を締結し、事業を実施。		

第6章 平成27年度 子ども・子育て支援関係実績 及び 平成28年度 子ども・子育て支援関係計画

大プロジェクト名	小プロジェクト名	事業名	担当課	内容	H27予算額	H27決算額	H27実績	H28予算額	H28計画	國プロ	重点
3. 家庭の自立・社会参加支援プロジェクト		学習支援事業	生活支援課	生活困窮家庭の児童等を対象に、学習支援を行う。	764千円	2,826千円	8月末からの事業開始に向け、生活保護受給世帯に対し事業趣旨説明等を行うと同時に、県内の大学や専門学校に対し学生サポーター募集協力を行った。 8月12日にはボランティアに対し研修会を実施。 8月25日から学習支援事業「学んでいこウカ」を水口中央公民館において水曜日に実施した。 開催日数 20回 登録生徒数 25名 延べ出席日数 245名	13,292千円	平成27年度から実施の「水口教室」に加えて「甲南教室」「信楽教室」の2教室を開校する。 対象者の小・中学生に高校生を追加する。 今年度は、各教室40回の実施予定。 信楽教室 火曜日 水口教室 水曜日 甲南教室 木曜日		★
	2) ひとり親家庭への支援強化	ひとり親家庭支援の充実	こども応援課	母子家庭等高等職業訓練促進給付金の増額をはじめ、ひとり親家庭への支援を充実する。 ○ 母子家庭等高等職業訓練促進給付金の増額 ○ ひとり親家庭ふれあい交流事業の拡充 ○ ひとり親家庭福祉の会活動補助金の増額	3,121千円	1,174千円	○ひとり親家庭ふれあい交流事業 市内の子育て支援センターにおいて、各地域で実施。 ・水口地域 10月31日 こどもの森(1組2人) ・土山地域 11月8日 子育て支援センター(6組13人) ・甲賀地域 11月29日 かふか生涯学習館(4組12人) ・甲南地域 11月1日 成田牧場他(4組9人) ・信楽地域 12月12日 信楽中央公民館(8組21人) ・全域 3月27日 クリエイトト月ヶ瀬(6組15人) ○ひとり親家庭福祉の会の活動補助金として、700,000円を交付 ○母子家庭等高等職業訓練促進給付金 ○自立支援教育訓練給付金 ○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金【新】	4,515千円	○ひとり親ふれあい交流事業 市内の各子育て支援センターにおいて開催する。 ・水口地域 10月22日 インスタトラン発明記念館(バス定員10組) ・土山地域 9月4日 手打ちうどん作り(交流会定員12組) ・甲賀地域 10月29日 餅つき体験(交流会定員12組) ・甲南地域 8月27日 京都鉄道博物館(バス定員15組) ・信楽地域 11月13日 名古屋科学館(バス定員15組) ○ひとり親家庭福祉の会の活動補助金として、700,000円を交付 ○母子家庭等高等職業訓練促進給付金 ○自立支援教育訓練給付金 ○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金【新】		
	3) 外国人児童のコミュニケーション支援強化	母国語支援員の配置	こども応援課	外国人の方への子育て支援を行っていくため、今後、母語支援員の配置。				2,349千円	外国人の方への子育て支援を行っていくため、母国語支援員(ポルトガル語スペイン語)配置。通訳の他、通知文等の翻訳を行う。		
			こども未来課	○日本語が堪能でない保護者、園児への通訳・翻訳等(家庭通信、懇談、行事等)	2,156千円	2,155,280円	・H27年度支援が必要人数は、57名 ・母語相談支援員1人	2,553千円	○日本語が堪能でない保護者、園児への通訳・翻訳等(家庭通信、懇談、行事等)		
4. 子育てと仕事の両立推進プロジェクト	1) ワーク・ライフ・バランスの啓発促進	マザーズ就労相談	商工政策課					750千円	結婚・出産により離職し、再就職を考えている方、仕事と子育ての両立に悩んでいる方等の「働きたい女性」を支援するために専門のキャリアカウンセラーによるお仕事相談(カウンセリング)を各町子育て支援センター等で各町2回ずつ全10回実施する。	★	★
	2) 市内事業所に対する子育て応援企業認定制度の創設	こうか子ども・子育て応援企業認定事業	こども応援課	市内に所在する企業うち、子育て応援に積極的に取り組む企業を「こうか子ども・子育て応援企業」として認定し、市広報等により広く周知する。			現在、認定制度創設に向けて関係機関等と調整を図っている。		子ども・子育て応援団ネットワーク事業と併せて、企業アピールやメリットなどを検討する。		
5. 子どもと子育て家庭を支えるプロジェクト	1) 妊婦健康診査助成の拡充	妊婦健康診査公費負担の拡充	健康推進課	妊婦健康診査の基本健診に係る公費負担を、1人あたり20,160円増額し、46,200円とする。 《参考》標準的な基本健診費用 1人あたり68,480円	66,192千円	57,760千円	妊婦健康診査の基本健診に係る公費負担を、1人あたり20,160円増額し、46,200円としました。H27.4に既交付受診券の交換を行った。	66,192千円	妊婦健康診査の基本健診に係る公費負担を、1人あたり46,200円として、超音波検査及び子宮頸がん検査なども含め受診券の交付をおこなっている。		
	—	小中学生通院医療費助成(子育て応援医療)	保険年金課	小学1年生から小学3年生の全ての児童を対象(所得制限の廃止)に、通院にかかる医療保険の自己負担額の全額を助成する。	4,000千円	4,372千円	対象者に受給券を交付し現物給付を行う。12月初旬に対象者あてに手続きに関する案内通知を発送。郵送または、窓口受付により申請書受領後、受給券を交付した。H27年度支払分は1月診のみとなる。対象者2,323人	38,000千円	H27年度に引き続き子育て応援医療制度を実施するとともに、小1~中3までの医療費助成を県制度としてもらえるよう県に要望する。		★
	2) (仮称)子育て総合支援センターの整備	(仮称)子育て総合支援センター整備事業	こども応援課	子ども・子育て支援を行うワンストップ拠点を鹿深夢の森内に整備し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う。	18,000千円	4,590千円	甲賀町大久保地内鹿深夢の森内に子育て支援のワンストップ拠点として、(仮称)子育て世代包括支援センターを整備するため、実施設計業務を発注。平成28年度に着手する予定	228,000千円	甲賀町大久保地内鹿深夢の森内に妊娠出産から子育て全般をサポートするため、子育て支援のワンストップ拠点として、(仮称)子育て世代包括支援センターを整備。平成29年春の開設を予定している	★	
	3) 子ども・子育て関係職員の資質向上・人材育成	子育て支援センター指導員、子育て支援員、児童クラブ指導員の研修	こども応援課	子育て支援に関係する指導員等のスキルアップや、子どもをとりまく現状等の情報収集のため、研修会を実施する。	417千円	0千円	児童クラブ指導員向けの研修を実施した。 第一回 7月8日 発達障害について～基礎編～ 99人 第二回 10月20日 発達障害について～事例研究編～ 48人	388千円	指導員の資質向上、人材育成のため研修を実施予定 ・発達支援 ・小児アレルギーについて 他		
	保育士研修	こども未来課	○職員研修(保育内容、特別支援、乳児保育等) ○スキルアップ研修会(年間4回) ○家庭的保育者基礎研修会	400千円	229千円	○職員研修(園長研2回、主任研3回、保育内容、特別支援、乳児保育等) ○スキルアップ研修会(年間4回) ○家庭的保育者基礎研修会(21時間 内部講師で対応) *H28年度は、外部講師依頼予定	448千円	・職員研修(園長研2回、主任研3回、保育内容、特別支援、乳児保育等) ・スキルアップ研修会(年間5回) ・家庭的保育者基礎研修会(21時間 実習2日) *H28年度は、外部講師依頼予定	★		